

走る男という 自分の代名詞が 道を拓いてくれた

タレント 森脇健児さん

若くして大ブレイクし、バラエティ番組やドラマなど最盛期はレギュラー番組を12本も抱えていた森脇健児さん。拠点を関西に移してからは、タレント活動と並行し、アスリートとして活躍。紆余曲折の芸能界と「走る男」への道、未来や子どもたちへの想いを伺いました。

もりわきけんじ◎1967年生。枚方市出身。中・高・大と陸上部に所属し100m11秒2を記録。18歳で芸能界入り。桃山学院大学社会学部卒業。1990年、東京へ進出し「笑っていいとも!」(フジテレビ系)、『夢がMORIMORI』(TBS系)など人気バラエティ番組に多数出演。1999年に関西に戻り、「走る男」(東名阪ネット6共同制作)で北海道から沖縄まで2700kmを1年間で完走。毎年、春と秋の「オールスター感謝祭」(TBS系)の名物企画「赤坂5丁目ミニマラソン」では2度優勝し、全国各地のマラソン大会にゲストランナーとして招かれ、「走る男」の顔を不動にした。現在、関西を中心にバラエティ番組やラジオ等多数出演するほか、セミナー、トークショーなど幅広く活躍し、再ブレイク中。1989年「上方お笑い大賞」話題賞を受賞。2015年「第9回ベスト・ブラウド・ファーマー賞」芸能部門を受賞。



**仕事に遊び、
寝る間なしの東京時代**
芸能界に入られた理由は？

ラジオの深夜放送で、スピーカーの向こうに、鶴瓶さんや島田紳助さんなど僕らのヒーローたちがいたんです。子どもの頃からそこに行く決めていて、高校2年の春休みにはオーディションを受けて松竹芸能に入っていました。

23歳で東京進出されたときは？

パブルの勢いがまだ続いていて、すぐに『笑っていいとも!』(フジテレビ系)やトレンディードラマに出させていただきました。そのうち全国のタレントになり、ゴールデンタイムの番組にもバンバン出演。当時はレギュラー番組が12本ありました。今思うとすさまじかった…。一方で、よく遊びました。銀座、六本木、「ジュリアナ東京」にも通った。寝る時間が惜しくて…。普通にご飯を食べに行ったり、テレビで見るようなプロ野球選手や、リーグ選手、プロレスラー、ミュージシャン、芸人役者がいる。CMも海外口ケばかり。それはもう楽しかった。ただ、どこかで「不思議な世界にいるんだな」という感覚は当時からありましたね。

**30歳で仕事がゼロ。
どうする!?**

— 走ることを始められたきっかけは？
30歳で関西に戻りましたが、仕事はゼロ。でも、副業には手を出さず、身体を鍛えたり、ネタづくりをしていました。大好きなこの業界、何が

あつてもかじりついてメシ食っている師匠らがカッコイイと思うから。そんな中、36歳の時に『オールスター感謝祭』(TBS系)に呼ばれ、ミニマラソンで優勝したんです。そのとき「これ10年やったら芸能界で、もう一度輝けるかもしれない」と何の根拠もないのですがひらめいて、人生の流れを変えるためにマラソンに専念したんです。よい方向に動くかは、この10年間の努力次第だと思っていました。

— 大切にしていたことは？
嘘をつかないことです。例えば、40歳になったとき「走る男」(東名阪ネット6共同制作)という番組で北海道から沖縄まで2700kmを1年間で完走しました。ずっとカメラが回っているわけではないので、ごまかせないことはない。でも、それは視聴者を裏切ることになる。完走後、温泉に入ったときの僕の身体や、あがつてビールを飲むときの表情を見てもうえれば、本当に走ったかどうかはすぐわかります。面白い人なんてこの世界、腐るほどいます。だからこそ、誠実にやる基本姿勢を大切にしました。

— 昨年は、14年ぶりに優勝されました。関西に帰った時「アイツ何者やねん」と言われました。今なら「走る男」だと言ってもらえます。全国的なマラソンブームがくる前に、自分の代名詞が築けてよかったです。2007年の東京マラソンから、大都市のマラソンブーム、そしてそれがローカルにも広がって、最近ほぼ毎週のように全国各地のマラソン大会にゲストランナーとして呼んでいただいています。以前はオリンピック選手がやる仕

— 以前、ベストブラウドファーマー賞を受賞されています。お子さんが小さい頃の子育てはどんな想いで？
関西に戻ってきたばかりの頃で、妻にまかせっきりでしたが、息子が小学校2年の時に『オールスター感謝祭』のミニマラソンで初めて優勝したときは、全国ネットのゴールデン番組で、息子に「イトコ」を見せることができました。息子も中学・高校・大学で陸上部。僕は試合観戦にも行きましたし、今も一緒に走ったりしています。

— 子育てで大切にされていることは？
子どもたちの前では「今日も仕事。事でしたが、僕に「走る男」のイメージが定着したということ、走るだけではなくしゃべりで盛り上げられること、評価されているのだと思います。月間250kmくらいは走ります。練習も仕事のうち。とはいえ、20代の時みたいな忙しさにはついていきません。年齢的に週休2日でちょうどいい(笑)

— 親父のがんばり、
やっと息子にみせられた
— 以前、ベストブラウドファーマー賞を受賞されています。お子さんが小さい頃の子育てはどんな想いで？
関西に戻ってきたばかりの頃で、妻にまかせっきりでしたが、息子が小学校2年の時に『オールスター感謝祭』のミニマラソンで初めて優勝したときは、全国ネットのゴールデン番組で、息子に「イトコ」を見せることができました。息子も中学・高校・大学で陸上部。僕は試合観戦にも行きましたし、今も一緒に走ったりしています。



— 子育て中の奥様はイライラされていませんか？
— 子育て中の奥様はイライラされていませんか？
— 子育て中の奥様はイライラされていませんか？

— ありがとうございます
— ありがとうございます



6月は「就職差別撤廃月間」です しないさせない 就職差別



昭和50(1975)年に「部落地名総鑑事件」が発覚したことを契機に、大阪府ではすべての職場、すべての企業から就職差別を解消するため、全国に先駆け昭和57(1982)年から本月間を設けています。毎年6月はハローワークにおいて、新規学卒求人票の受理が始まることから各種啓発活動を集中的に展開しています。

採用面接時に、家族の出身地や職業、思想・信条などについて質問することは、本人に責任のない事項や本来自由であるべき事項で応募者を判断することになり、就職差別につながるおそれがあります。

就職の機会均等を保障することの大切さについて皆様のご理解をお願いします。

就職差別110番

採用面接時等の差別について、相談、関係機関の紹介等を行います。

☎06-6210-9518 [6月13日(水)~15日(金)10:00~18:00]

✉rosei-g04@sbox.pref.osaka.lg.jp (Eメールでの相談受付は6月中随時)

問い合わせ 大阪府商工労働部雇用推進室 ☎06-6210-9518

採用選考は、人の一生を左右しかねない重要な意味を持っています。
就職の際の採用選考では、以下の3点の基本的な考え方が大切です。

「人を人としてみる」人間尊重の精神、すなわち応募者の**基本的人権を尊重する。**

応募者の**もつ適性・能力を基準として採用選考を行う。**(特定の人を排除しない。)

応募者に**広く門戸を開く。**

個人情報保護の観点から、応募者より提出された履歴書などの取り扱いに当たっては個人情報の権利利益を侵害しないようにしなければなりません。

このような質問は**就職差別につながる**おそれがあります！

質問 本籍は？

本籍の質問は、結果的に就職差別につながるおそれがあり、同和関係者や在日韓国・朝鮮人の人々を排除してしまうことになりかねません。

質問 住居は？ 家族構成、家族の職業・地位・収入、資産は？

応募者の適性・能力を中心とした選考を行うのではなく、本人の責任でないことがらで判断しようとしていることです。これらは本人の努力によって解決できない問題を採否決定の基準とすることになり、そこに予断と偏見が働くおそれがあります。

質問 思想・信条、宗教、尊敬する人物、支持政党は？

思想・信条や宗教、支持する政党、人生観などは、信教の自由、思想・信条の自由など、憲法で保障されている個人の自由権に属することがらです。それを採用選考に持ち込むことは、基本的人権を侵すことであり、厳に慎むべきことです。

その目で見て 生まれた場所より 私自身を

平成29年度人権に関する作品募集事業
キャッチコピー 高校生の部特別奨励賞
中村 文慧琉さん

企業と人権



企業はみんなとつながっている！



従業員

- 誰もが働きやすくなる
- モチベーション&スキルアップを図れる
- ワーク・ライフ・バランスを図れる
- ハラスメントが減少する
- 個人の個性が尊重される

「CSR」は「Corporate Social Responsibility」を略した言葉です。意味は「企業の社会的責任」です。簡単に言えば、その企業の社員や地域の人、お客さんや取引先に信頼される活動(行動)をやることです。
「CSR」活動を推進している企業が増えることで、働く人の人権(働き方やハラスメント等の働く環境)が守られるなどのほか、私たちの生活にも多方面にわたり影響しています。

企業のCSR取り組み例

人財育成、働きやすい職場づくり、人権教育、フレックスタイム・在宅勤務制度の導入、地域社会の交流促進、地域の防犯活動推進、まちの美化活動、インターンシップの受け入れ、子育て中の女性の就労支援、社員の主体性を生かす取り組みなど。

企業

- 企業のイメージアップ
- 優秀な人材の確保
- 生産性が向上する
- 企業の評価、利益が向上する
- 他社との差別化が図れる



CSR

顧客・消費者

- 商品やサービスの安心・安全性の確保
- 顧客(個人)情報の適正管理
- バリアフリー、ユニバーサルデザインにより利便性が向上

地域住民

- ボランティア活動への参加が得られる
- 地域の活性化が図れる



「大阪府市民活動総合ポータルサイト」

市民活動に役立つ様々な情報を発信・収集することのできるサイトで、ボランティア募集・イベント情報のほか、企業のCSR活動の情報等を発信しています。サイトに設置しているCSRに取り組む協賛企業の「クリック募金バナー」をクリックすると、クリックされた方に代わって協賛企業から大阪府に寄附され、いただいた寄附は市民活動を支援するために使われます。
<http://kyodo-portal.city.osaka.jp/>

企業のCSR活動は、**双方にメリットをもたらすと考えられます。**